

学ぶ意欲を育てる根幹づくり

一人ひとりを大切に**する授業づくり**
 ・指導と評価の一体化を図ることを目指し、新学習システムによる少人数授業（1、3年英語）の研究をはじめ、各教科において授業計画の見直し、指導方法の改善と工夫に努めてきました。
 ・「オープンスクール」の文化祭、授業参観では、例年になく保護者や地域の方々への出席をいただきました。

温かい人間関係づくり

・「道徳教育講演会」では、栗木剛先生を招きアフリカでの活動を通して『命って』と題し、全校生徒に講演をいただきました。
 ・親睦「ソフトバレーボール」大会を開催し、PTA会員相互のふれあいを深めました。
 ・夏休みに「除草作業」「LAN工事」に支援をいただくとともに、協働と信頼を確信しました。
 ・昨年度に引き続きマラソン大会時に、PTAボランティアによる温かい「うどん」のサービスをいただきました。

広報活動の充実

ホームページを開設し、よりホットな情報や活動をお知らせできるようにしました。

生徒会活動

生徒会では、「ユニセフ」「スマトラ沖地震」の募金活動を実施しました。また、新企画「クリハリ」でのボランティアを募り、喜瀬川と地域の公園の清掃活動を実施しました。
<http://www.harimaj.ed.jp>



こころ豊かに生きる力を持った児童の育成

―友だち・家族・地域の人々との温かいつながりを大事にし、毎日期待を持って通う学校づくりを目指して―

本年度の取り組み

本校では、豊かな心と健やかな体を培い、確かな学力を定着させる教育に取り組んできました。
 ①二層構造学力群の考えに立ち、個に応じたセレクトタイムや朝の学習タイム、朝読書に取り組み、基礎学力の向上を図りました。また、算数科を中心に研究を進め、「わたしのこころみ」で、教材の工夫など教科の指導力向上を図りました。
 ②自主的・自立的な学習意欲・態度を培うため、本年度もテーマ学習に取り組ましました。4年生以上が学年学級の枠をはずし、各自が設定した課題の解決に挑戦します。今年は新たに「国際交流をしよう」「昔のあそび」「小物づくり」の3つが加わり、11のテーマで取り組みました。見学や交流を行い、また、学習ボランティアの支援を受けながら課題を追求し、深まりのある学習ができました。
 ③北小フェスティバルでは、児童が中心となって企画し、工夫を凝らしたサーキットで参加者を楽しませてくれました。

今後とも、地域や保護者の方々の協力・ご支援を頂きながら、より充実した教育活動に取り組んで参ります。
<http://www.harikita.harinakyoiku.jp/>



新しい時代を切り拓く子どもたちに「夢」と「希望」と「生きる力」を！

本校では、国の教育改革の動向を踏まえつつ、子どもたちにしっかりととした「人としての基」を築くため、次のような教育活動に力を入れて取り組みました。

① 生きる力を育む学習活動

・国語を中心とした授業や、朝の会、終わりの会など学校生活の様々な活動を通して、「人間力」の基礎ともなる「伝え合う力」を培ってききました。
 ・学ぶ楽しさが味わえる授業、少人数指導や複数指導、計算めきめきタイムなどの工夫と改善を図り、確かな学力の育成に取り組んできました。
 ・手話や車椅子・ALT学習などの体験活動や「南っ子、自分のベストをしぼり出せ（運動会）」「戦後の復興、歴史・人との出会い（修学旅行）」などの行事が貴重な感動体験となるよう実施してきました。



② 豊かな人間性を育む教育活動

・朝のさわやか校門指導、「南っ子のきまり」の徹底など、基本的な生活習慣の確立に努めてきました。
 ・飼育栽培、福祉体験、人形劇「じっぼ」の鑑賞、お話を聞く会、CAP講習会など、豊かな感性を育てる場を数多く持ちました。
 ・児童集会や全校縦割り南っ子活動、サークル活動などを通して、やりぬく心や思いやりの心を育ててきました。
 ③地域と共に歩む学校づくり
 ・古宮獅子保存会のご指導による伝統継承活動、チャランなど特色ある教育活動を推進してきました。
 ・地域から学ぶ探検学習、親子クリーンキャンペーンなど、地域から多くのことを学びました。

心を通わせ、ひびき合って育つ子どもの育成を目指して

―様々な人々との交流を通して―

本園では、身近な友だちや地域の様々な人々とふれあい、心を通わせていく中で、人とかかわる力を育てたり、社会生活に必要な態度を身につけたりして、生きる力の基礎をはぐくむ教育をすすめてきました。
今年度の取り組みの成果として
 ◎友だちと生活する中で
 ・思いを表現する大切さに気付き、互いに受け入れたり認め合ったりする姿が多く見られるようになり、一緒に生活する喜びを感じています。
 ◎なかよし家族（異年齢児）との交流では
 ・年下の幼児へのかかわり方がわかり、思いやりの心が育っています。
 ・年上の幼児に対して、信頼と憧れの気持ちも育っています。

◎なかよしデー（播磨南中学生、学園北自治会、図書ボランティアほんわかデー（地域の老人クラブ）を通して、
 ・あたたかい心を感じ、安心感や信頼感が育っています。
 ・人間関係が広がり、自分から親しみをもってかかわろうとされています。
課題として
 地域の方々のお力添えをいただき、子どもたちが愛情をいっぱい感じながら素直に成長していることを嬉しく感じています。今後、家庭や地域との連携を深め、一人ひとりが人とふれあう中で、より豊かな体験を積み重ねていけるような機会や内容を工夫していきたいと考えています。
<http://www.harimayoutien.harimakyoiku.jp/>



人との関わりの中で心豊かに生きる子の育成を目指して

本年度の主な取り組み

①子ども心に響く道徳教育の推進
 ・心の教育として大切な「道徳の時間」の充実を力を入れていきます。
 ・「教科や特別活動、生活科や総合的な学習の時間」でも計画的に学校生活の全領域で道徳教育に取り組んでいます。
 ②確かな学びにつながる少人数指導
 ・算数科において基礎基本を大切に学習指導に取り組んでいます。
 ③関わりを大切にしたい保護者との連携
 ・「灯足の会（親父の会）」でライオンズクラブから寄贈されたホタルの池づくり。そして、ふれあい風づくり風あげの会を実施しました。親父の背中が大きく見えました。
 ・「なでしこの会（母親の会）」では、花壇の花植えや朝の読み聞かせなどしていただきました子どもたちも大喜び、お母さんの温かさを感じました。
 ・学年ごとに工夫した親子行事の実施しました。
 1年 親子運動会
 2年 親子綱引き大会
 3年 ドッジボール大会
 4年 親子カルタ取大会
 5年 親子陶芸教室
 6年 親子性教育学習会
今後に向けて
 元氣よくあいさつを交わらせる子どもたちを育てるために努力していきたいと考えています。



魅力ある幼稚園教育の創造を友達と共に育ちあう子どもを目指して

本年度の取り組み

素直に自分を表現する子どもに
 ・園生活の身近な環境の中で、幼児が感じたり考えたりして表現する姿を適切に受け止めてきました。
 幼児がイメージを豊かにし、自分なりに言葉や表情、体の動き、歌、絵画などで自分の思いを豊かに表現できるようになってきました。
お互いの良さを認め合う子どもに
 ・同年齢や異年齢の友達、保育園児、小学生、中学生、地域の人々など様々な人とかかわる体験を豊かにできるように計画的に取り組んできました。
 いろいろな考えを持った友達や様々な人との出会いのなかで、一緒に遊ぶ楽しさや共感し協力する喜び、つまずき、葛藤などいろいろな感情体験を味わっています。その中で、互いの良さに気づいたり認め合ったり出来るようになってきました。
支えあう子どもに
 ・集団生活に必要なルールや態度を身につけ、自信を持って生活できるよう個に応じた指導をしていきます。
 生活するための善悪の区別や決まりなどを友達とのかかわりの中で確認し身に付けています。そして自分の感情をコントロールしながら、友達同士支え合える関係が出来てきました。



3歳・4歳・5歳の発達段階に応じた育ちを確かにして小学校につなごうとしています。
<http://www.hasukeyoutien.harimakyoiku.jp/>

力づくではだめですよ

～車いす体験教室～ 播磨南小学校



▲この段差が大変

車いすの人の立場に立って押すことが何よりも大事だということもわかりました。それぞれの立場を体験し、しっかり考えることができた1日でした。

まずは、たたんだ車いすを開く。これがなかなか、初めてのことで、どうしていいかわかりません。いろいろやってみるうちに、やっと発見。ブレーキやステップの使い方を教えてもらい、乗って動かしてみます。あれあれ？ 右に行きたいのなら、そっち回しちゃダメ！ そんなに力を入れたら、空回りしちゃいます難しい…。

楽しい参観日！

播磨北小学校



▼さあ準備だ！



▲マッチでバーナーに火をつけよう

4年生は、12月2日(金)の参観授業でお父さん、お母さんと一緒に理科の初めての実験をしました。広い理科室の使い方を学び、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながらガスバーナーを使って、空き缶をグシャッとつぶしたり、アルコールランプを使ってフラスコを真空にして、噴水を楽しんだりしました。子どもたちは、目をキラキラさせながら、「ちよっぴりこわかったけど、お父さんにしてもらってよかった」「失敗したけど楽しかった！」「またやりたい！」という声があがり、楽しく学ぶことができました。

記録会 播磨小学校



「ヤッター。去年よりも記録がのびた」5分間を走り終え、距離を確認し一喜一憂する子どもたち。播磨小学校では、持久走を継続して行うことを通して、体力および健康増進への意欲を高めようと2週間の業間駆け足を全校で取り組みました。駆け足の成果を3年生以上は、運動場を5分間、自分のペースで走れるだけの距離を走れるか、記録会を実施しました。

「今年は、去年より距離をのびた」と、目標を決め、一生懸命に自分の記録に挑戦しました。一人ひとりが、全力で走りきった記録会でした。

感動をありがとう!!

蓮池小学校



▲第22回播磨町小中高学校連合音楽会 第31回音楽会

11月12日(土)、第32回音楽会が行われました。体育館のアスベストの問題で、今年も播磨北小学校の体育館を急ぎよお借りしました。6年生にとっては、小学校生活最後の音楽会。悪条件の中、毎日練習に励みました。合唱曲「広い世界へ」は、6年生が選んだ大好きな曲です。歌詞に出てくる一つ一つの言葉をかみしめ、自分たちの未来へ、思いを馳せながら歌いました。合奏曲「フックト オン クラシックス」は、クラシックの名曲ばかりを集めたメドレーです。次々と奏でられるメロディーに、保護者の方々は、クラシックの世界へと引き込まれていきました。演奏を終えた6年生は、自分たちの想いがきちんと伝えられたと、達成感と充実感に満ち溢れた表情を見せてくれました。

力走・完走 校内マラソン大会

播磨南中学校



「2年生男子スタートします」12月2日(金)、9時40分。2年生男子が一斉に元気にスタートし、校内マラソン大会が始まりました。西小では、昨年度より着順による表彰をやめ、標準記録をもとに金賞・銀賞・銅賞を認定し、1・2年生は1000m、3・4年生は1300m、5・6年生は1500mのコースを完走目指して走るようになりました。

寒冷の中、12月10日(土)に恒例の校内マラソン大会が行われました。運動場は緊張した面持ちでスタートを待つ生徒たちでいっぱいでした。集合の号令が掛かると、いよいよレース開始。最初に1年生女子がスタート位置に着きました。そして、号砲一発一斉にスタートし、トラックを1周してから外周コースへと力強く走り出して行きました。その後、1年生男子、2年生女子、2年生男子、3年生女子、3年生男子の順で次々にスタートし、走った生徒すべてが完走しました。そして、走り終わった後、生徒たちは、PTA役員さんたちに作ってもらったうどんを、校内のあちらこちらで楽しくいただき、心と体を温めました。

力いっぱい走ったよ

播磨西小学校



「2年生男子スタートします」12月2日(金)、9時40分。2年生男子が一斉に元気にスタートし、校内マラソン大会が始まりました。西小では、昨年度より着順による表彰をやめ、標準記録をもとに金賞・銀賞・銅賞を認定し、1・2年生は1000m、3・4年生は1300m、5・6年生は1500mのコースを完走目指して走るようになりました。

「2年生男子スタートします」12月2日(金)、9時40分。2年生男子が一斉に元気にスタートし、校内マラソン大会が始まりました。西小では、昨年度より着順による表彰をやめ、標準記録をもとに金賞・銀賞・銅賞を認定し、1・2年生は1000m、3・4年生は1300m、5・6年生は1500mのコースを完走目指して走るようになりました。寒い中、保護者の方も多数参観いただき、熱い声援を送っていただきました。スタートのときは、緊張していた子どもたちも、ゴールした後は、それぞれ自分の力を出し切った満足感に溢れた様子でした。スタートのときは、緊張していた子どもたちも、ゴールした後は、それぞれ自分の力を出し切った満足感に溢れた様子でした。

カントリー作戦 播磨南高等学校

12月14日(水)に地域清掃ボランティアを行いました。生徒会執行部と各クラスのボランティア委員、美化委員が中心となり、西二見駅周辺方面と播磨町駅の東側陸橋方面の二方向に分かれて道端に落ちているゴミなどを拾いました。その他にも、3年8組有志、野球部、陸上部も手伝ってくれました。昨年このカントリー作戦を実施していたのですが、たった1年間で思っていたよりも多くのゴミが落ちていたことに対して驚きを隠せませんでした。でも、同時にみんなの心がこの活動で、町をきれいにしているのだという使命感が沸々と湧き上がってきたようで、清掃用を持っていったゴミ袋を一杯にして帰ってきた生徒も多く、僕としてもこの活動を実施してよかったなあ。と、心から思えました。

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

熱い声援をうけて マラソン大会

播磨中学校



12月17日(土)に校内マラソン大会が実施されました。風もなく絶好のマラソン日和のうえ、2学期最後の行事とあって、生徒たちも自己記録更新目指してかなり燃えました。マラソンは、孤独との闘い、自己との闘いといわれますが、それぞれが長距離(男子45分、女子30分)を走りぬいたので。また、多くのPTA役員の方が、コースの立ち番をしてくださったり、地域の方が応援してくれたさるなど、走っている生徒たちにとって心強いものとなりました。完走後には、PTAの方々によるうどんが振舞われました。心も体も温かくなった1日でした。



12月8日(木)、お母さんと一緒にクリスマスやお正月の飾りを楽しんで作ろう! ということで親子造形「つ

くって遊ぼう」が開かれました。マツボックリやドングリなどの秋の自然物を使ったり、きらきらモールやリボンを使ったりしてどの子もお母さんと一緒に作ることができて嬉しそう。

うれしいな、お母さんと一緒に



はい! お母さん

播磨幼稚園

「ここはどややってつけるの?」「これをついたらおもしろいぞお」と子どもたちが考えたことを、お母さんも優しく「こややってするんだよ」「こつしてみたら?」と手を貸してやります。

出来上がった作品を飾りに行く。と、またいろいろな飾りに目がいざらきらと輝き、お友達との作品の見合いっこが始まりました。「また一緒に作ろうね」とニコニコ顔がいっぱいです。

今度はどんな作品が出来上がるのか楽しみですね!

寒いけど、がんばるぞ!!



蓮池幼稚園

▲もう一周走るぞ

「ピューピュー」と、冷たい風が吹く朝。「マラソン行つてきませぬ」と、幼稚園のなかよし広場をスタートして、井戸端ガーデンを通るマラソンコースを張り切って走っている子どもたち。白い息を吐きながら、「1・2、1・2」と、友達と掛け声を掛けながら頑張つて挑戦しています。マラソンが終わると、転がしドッジボールや縄跳び、サッカーなどが始まります。最後は『どんぐり体操』の曲に合わせてしっかり体を動かせば、もう体はほかほか。寒さに負けない強い体になりました。



今日はサッカーだ!

あなたに

ハトウタツチ

リレーエッセー⑨



大嶋 真由美さん (古田)

趣味 ピ鑑賞 (韓国の歌手) 自己PR 後方左が私です。「韓流」の波に乗り、韓国語の勉強をしています。どなたか教えてくださいませか?

目に見えるもの見えないもの

結婚して11年。つづつ子どもがいてくれたから今があると思います。9歳の兄と1つ違いの妹の2人ですが、特に娘は何でもものまね付き小芝居で、面白く話してくれるので、私の作る夕食には欠かせない「もう一品」になっています。お友達や学校での出来事は、家では見せない学校での顔を思いながら、一緒に泣いたり、笑ったり気付かされたりして聞いています。子どももまた、会社での母の姿はとも不思議な様で、「みんなと仲良くしてるの?」「お弁当誰と食べてるの?」「課長に怒られたことある?」と想像して、心配してくれているみたいです。

この前、夫婦げんかを見ていた上の子が、「僕は家族4人が好きなのに...」とボソッと話し、普段ほとんどしない玄関の靴を片付けているのを見て、また不安にさせてしまったと反省しました。目に見えないけど大切なことを、子どもに教えられた気持ちになりました。

先日も、北小鷹校が決定し落ち込んでいる私を見かねた友達が、こんなあなたにかい言葉をくれました。「辛い嫌なことがあったとき、雨が降り出したら、無理やりにも、私の心と同じ」と思うようにして、雨と一緒に落ち込み、泣いてもいいやん。でも次の日、晴れたら一緒に気分も変えて、元気になろう

とすること!! すつと雨じゃなし、晴れの日の方が多いんだから...。雨がきつと辛いこともみんな持っていつてくれるよ! と。以前の私なら洗濯物が乾かないだとか、シメジメうっとうしいだとか思っていたはずの雨なのに、人の気持ちって変われば変わるものだなあと、自分でもびつくりするくらい雨が待ち遠しくなりました。

『子どもの躰方二十五か条』 ふれあいルーム 松村 誠
※愛で導き、涙で叱れ。
※長所を認めて、できるだけそれを伸ばしてやれ。
※子どもの約束に背くは嘘を教えるに同じ。
※躰は学校と同一歩調で進め。
※まず第一に先生を尊敬せしめよ。
※年齢や理解力に応じて親切に教え導け。
※玩具や学用品等の始末はできるだけ自力にさせよ。
※買い食いの習慣はその子の品性を傷つけ、健康を害する。
※子どもの服装は、質素と寛容と清潔が第一。
※子どもの要求は、全部を容れては我儘になり、全部を退けてはいけません。
※早寝、早起きが基本。
(こま書房 川上源太郎著「学校は死んだ」より)

子どもの悩み相談室 「ふれあいルーム」
☎ 0794(37)4141
毎週月~金曜日
午前9時~午後5時
電話相談または面接相談どちらでも受け付けます。面接の場合は、あらかじめ予約してください。
※秘密は厳守します。

"30周年 おめでとう" 播磨西幼稚園

今年で30年を迎えた播磨西幼稚園。12月1日は「30年おめでとうもちつき大会」をしました。「よいしょ! よいしょ!」と子どもたちの元気な掛け声に合わせてお父さんやおじいちゃんがおもちをついてくれました。老人クラブの方々に丸め方を教えてもらって、上手にまるくまるめることもできました。できたおもちをきなこをかけておやつに食べて、お昼にはPTAのお母さんたちが作ってくれたみそ味の雑煮。おみやげに紅白のおもちを持って帰って大満足の子もたくさんでした。



ひとあし早いクリスマス

播磨保育園

今日は、楽しみにしていたパネルシアターの日。「どんなお話かな」と、ウキウキの子どもたち。部屋が暗くなるとシングルベルの歌に合わせて、サンタクロースがやってきました。手をたたいたり、一緒に歌をうたいながらパネルを見つめ「サンタさん!!」と、楽しそうに呼び掛けていました。また、大きなもみの木のパネルに、一人ひとずつ好きな飾りを選び、貼らせてもらいました。みんなが貼り終わりに、電気を消すと同時に、光っているクリスマスツリーが現れました。「わあ」と歓声が上がりました。「ピカピカしてきれいね」と、嬉しそう。





▲節目の日を迎えた新成人の顔・顔・顔

平成18年成人式 『それいけ新成人〜それぞれの輝く人生』

町内在住の20歳の人口は410人（1月1日現在）。1月8日（日）に中央公民館で行われた成人式に出席した新成人は334人でした。

12月に町内でも雪が積もるなど、厳しい寒さの続いた今年ですが、成人式当日は朝から穏やかに晴れ渡りました。振袖やドレス、袴、スーツなど思い思いの晴れ着で集まった新成人たちは、会場前の広場で懐かしい同級生との再会に、あちらこちらで歓声があがり、喜びの笑顔が広がっていました。

昔話に花が咲き、なかなか会場に入れない新成人も多くいました。自らの晴れ舞台を自分たちの力で作り上げようと30人の実行委員の呼びかけに



▲決意表明をする代表の最上さん

「自己の目標を高く掲げて、これに向かって勇氣を持って邁進していつてもらいたい」という佐伯町長の祝辞に続いて、来賓として出席した小中学校時代の恩師からの祝いの言葉や当時のエピソードが語り、会場内からは「懐かしい」という声があふきました。

実行委員の喜多達さんと、最上健さんが20歳の決意と感想を述べて、式は盛会のままお開きとなりました。



▲華やかな受付風景



▲最優秀賞「体験」森沢イサオさんの作品

新年交礼会で住民、商工業者、団体が交流しました

播磨町・町議会・播磨町商工会が主催し、新年恒例の交礼会が1月4日（水）に健康いきいきセンターで開催されました。

「自治体も民間もともに次代の責任を負わなくてはならない」との佐伯町長のあいさつに続き、山口商工会長の発声で乾杯をしました。短い時間ではありましたが、住民、各種団体、商工業者、企業などから参加した約160人の参加者は、ジュースと軽食を取り、名刺を交わすなど和やかに歓談しました。



▲町のよき新年を願いました

郷土資料館「大中遺跡まつり」フォトコンテスト結果と写真展

11月5日（日）に、播磨大古時代の村で行われた「第15回大中遺跡まつり」で募集した「大中遺跡まつりベストショットコンテスト」に、ご応募いただきました。

2月28日（火）まで写真展を催しています。ぜひ郷土資料館でご覧ください。作品名と入賞者は次の通りです。（敬称略）

最優秀賞 「体験」
森沢イサオ（北本荘）

優秀賞 「早弥呼参上」
玉木弘文（神戸市西区）
「古代人の仲間」
松本加寿子（南大中）
「こっちあいてー」
山本繁一（宮北）
「あー息ー」
平松陽子（加古川市）
「ほほえみ」
広田 守（加古川市）

佳作

ありがとございしました。コンテストの審査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。また、2月28日（火）まで写真展を催しています。ぜひ郷土資料館でご覧ください。作品名と入賞者は次の通りです。（敬称略）

平成18年出初式、質の高い消防団への決意を新たに



▲現在、播磨町の消防団は11分団あります

1月8日（日）、加古郡消防協会の出初式が蓮池小学校校庭で行われました。「昨年の大雨による水防活動の際には、昼夜を問わず活動に携わり、地域での消防団の役割を改めて意識した年でした。火災に限らず台風や今後予想される東南海地震などの地震災害に備え、消防団の行動力が求められています」という橋本司加古郡消防協会長の式辞を受け、団員は誓いを新たにしました。

播磨町消防団の田中廣治団長にお話を伺いました。「昨年、行方不明になった高齢者を、消防団員同士が携帯電話



▲田中団長



▲左から稲美町 赤松町長、加古郡消防協会 橋本会長、播磨町 佐伯町長

話のメールを使って連絡を取り合い、早期に発見したという出来事がありました。改めて団員同士の結束の重要性を確認しました。また、消防団の組織改革の1つとして、今年から地域や小中学校での防火指導、救急指導などを活発に実施する婦人消防団の立ち上げに取り組みます」と話してくれました。

※播磨町の昨年1年間の火災発生件数は2件。損害総額は5万円でした。また、救急車の出動件数は131件で、1091人の人を搬送しました。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)

播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

2月の放送予定（収録場所 加古川市）

前半 2月6日（月）～2月19日（日）

- 特集 税の申告と税制改正について（高砂市）
- ふれあいインフォメーション（各市町からのお知らせ）

後半 2月20日（月）～3月5日（日）

- 特集 播州葡萄園跡が国指定の文化財に！（稲美町）
- ゆうゆうライフ（播磨町）

放送時間（第1・3月曜日の①以外は再放送）30分番組

月・水・金 ①午前9時15分 ②午後5時 ③午後10時
火・木 ①午前8時 ②午後2時 ③午後6時15分
土・日 ①午前8時 ②午後2時 ③午後8時

わんぱくはりまっ子



平井 美空ちゃん（1才）
野 添

美空は我が家のアイドル！
いつまでもその笑顔で皆を楽しませてね。
（パパ・ママより）



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。（未就学児）
広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

1月29日（日）は播磨町ロードレース大会です。今年のゲストは奥谷巨さんです。昨年8月に行われた世界陸上選手権大会で、マラソン男子団体優勝を果たされました。播磨町出身の世界選手です。私は、出場する各選手、応援する人たち、ボランティアの皆さんをたくさん取材したいと楽しみにしています。さて、播磨町出身で海外に渡り、日本の歴史上大きな功績を残した有名人といえば「ジョセフ・彦」。2月1日（水）、NHKの番組「その時歴史が動いた」で「日本に新聞が生まれた日」幕末維新・ジョセフ彦の挑戦」と題して紹介されます。放送時間は午後9時15分から9時58分です。（宮）